

### 3 じかんめ 図画工作

切った枝でバードコールを作ってみよう



グリグリ

キュ! キュ!



#### バードコール(鳥笛)とは

木に穴をあけ、金属のボルトをねじ込むだけで簡単に作れる楽器です。

ボルトを回すと摩擦で鳥の鳴き声に似た音を奏でます。森の中で使ってみれば、仲間だと思って鳥が近づいてくるかもしれません。

### 4 じかんめ ホームルーム



#### 校長先生より

- 今日はみなさんとても頑張りましたね。
- みなさんが今日活動するために、たくさんの方が危ないところを片づけてくれたりしました。感謝の気持ちを伝えましょう。
- この学校林は小学校の素晴らしい財産です。これからも大切にしていきたいでしょう。

6年生より

- \* 枝打ちは5年生の社会で習ったけど自分でやるととても大変だった。枝打ちをして林を守っている人がいるなんてすごいです。
- \* のこぎりの使い方や枝の切り方、ウルシの木のことがとても勉強になりました。切りおわると林がきれいになって、すごうれしいです!
- \* 枝を切ると光がさして木がもっと成長することがわかった。枝を切るのは大切だと思いました。
- \* バードコールは本当に鳥のような音が出てびっくりしました。自然は楽しい物を作れたり、色んなおもしろさがあるんだと思いました。
- \* 私たちが教わった学校林の歴史や木の大切さを今後の人にも教えたいと思いました。
- \* 次は中学校の学校林のことを教えてください。

# ボクらの教室、学校林



全学年が森林環境学習に取り組んでいる鮭川小学校。6年生が約1haのスギの学校林で枝打ちに挑戦しました。ヘルメットに軍手、長ぐつ。汗びしょりになって作業した後は伐った枝でバードコール(鳥笛)を作りました。

## 1 じかんめ 社会

鮭川小の学校林の歴史を学ぼう

- 昭和の初め、まだ鮭川村が3つの村(鮭川村、豊里村、豊田村)だったころ、ここは“ミタケの山”と呼ばれ、萱(かや)ぶき屋根の材料をとったり田畑を耕す牛や馬の餌をとったりする場所でした。
- 3つの村が合併する時、村の財産として後世に残したいと考え、鮭川小学校の学校林にすることを決めました。
- 村を大切に思う皆さんのじいちゃん、ばあちゃんが大切に育ててきた森です。



鮭川村教育長 奥山芳彦さん

県森林研究研修センター 森林経営指導部 環境学習推進チーム

やまがた緑環境税を活用して学校林をフィールドにした森林環境学習をサポートしています。[自然環境学習推進事業]



#### 学校林とは

学校建設の木材の調達や環境教育のフィールドとして活用することを目的に小中高校などが保有している森林。

平成23年度現在、県内の小中高校全509校のうち約3割にあたる125校が保有しています(国土緑化推進機構調べ)。

## 2 じかんめ 理科

学校林を元気にする枝打ちに挑戦しよう



最上広域森林組合 井上敏行さん

#### のこぎりの使い方

- 引く時に力を入れて
- 木の幹を傷つけないように
- 切り口は平らにする
- となりの人と間をあけて(枝やのこぎりがぶつからないように)